

# 第 71 回 応用森林学会大会

## プログラム

令和 2 年 11 月 14 日（土）

オンライン開催

応用森林学会  
THE SOCIETY OF APPLIED FOREST SCIENCE

# 第 71 回 応用森林学会大会

学 会 会 長： 徳地直子

大会実行委員長： 徳地直子

大会実行委員： 坂野上なお、徳地直子、長島啓子、中西麻美、長谷川尚史、古田裕三、松下幸司、吉村真由美（五十音順）

会 場： オンライン開催

主 催： 応用森林学会

共 催： 一般社団法人 日本森林学会  
一般社団法人 日本森林技術協会

後 援： 奈良県

会 期： 2020 年 11 月 14 日（土）  
発表資料の掲示は 11 月 16 日（月）17 時まで

参 加 費： 研究発表参加費 2,000 円（学生は無料）  
講演会視聴・総会出席 無料

大会事務局： 〒606-8502 京都市左京区北白川追分町  
京都大学フィールド科学教育研究センター  
第 71 回応用森林学会大会事務局  
T E L：075-753-6431（総務担当）  
E-mail：afs71meetingoffice@aplforsci.jp

## 日程表

	挨拶・講演・ 研究発表[Zoom]	「発表資料揭示」
11月14日 (土) 午前	10:00-10:10 開会挨拶、 進行説明 [文書配信]	
	10:10-10:30 講演 [動画配信]	
10:30-11:00 休憩		
11月14日 (土) 午前	11:00-12:00 総会 [Zoom]	
12:00-13:00 休憩		
11月14日 (土) 午後	13:00-14:00 研究発表 [Zoom]	13:00-  研究発表 [発表資料揭示]
11月16日 (月) 午後まで		
		11/16 17:00 まで

## 発表資料揭示

番号	部門	演題と発表者氏名
A01	林政	獣害対策を目的とする地域ぐるみの捕獲に関する一考察 古賀達也
A02	林政	「経験の消失」時代における森林テーマパークの意義 田畑舞織
A03	林政	京都大学芦生研究林に残る木地師集落の遺構とその来歴について 坂野上なお
A04	林政	国有林における高品質大径材の生産制度の動向と課題 —伝統木造建造物用材の入手難を念頭に— 峰尾恵人
A05	林政	Evaluation of a Visitor Management System in Nishiodai Regulated Utilization Area, Yoshino Kumano National Park Salsabilla Nur Feranti
A06	林政	経営面積規模別にみた生産森林組合の事業実施状況に関する統計的検討 —平成23年度森林組合一斉調査による— 松下幸司・高橋卓也・山口幸三・吉田嘉雄・仙田徹志
A07	造林	生分解性不織布ポットを用いた苗木の成長評価 北原文章・酒井敦・米田令仁
A08	造林	原発事故8年後における福島県南相馬市の山林の放射線量の現状と3段階の間伐の実施 上原巖
A09	造林	出雲大社の借景としての景観を構成する出雲北山山地西部における林相の変遷 高橋絵里奈・大畑結・米康充
A10	造林	生物多様性の高い亜熱帯林における環境に配慮した「やんばる型森林業」の展開 谷口真吾・新関一心
A11	造林	萌芽更新したウバメガシとアラカシの開花結実特性 山下由美子
A12	造林	ヒノキコンテナ苗生産における一粒播種作業の効率化 田中友梨・陶山大志・山中啓介
A13	造林	島根県内に植栽したセンダンの初期成長と先枯れの被害発生状況 安達直之・舟木宏・田中友梨・山中啓介

番号	部門	演題と発表者氏名
A14	<u>立地</u>	上賀茂試験地における大気からの窒素負荷の経時的変動について 徳地直子
A15	<u>立地</u>	気象条件と土壌条件がヒノキの窒素および水分利用特性に及ぼす影響 稲垣善之・中西麻美・宮本和樹・奥田史郎・深田英久
A16	<u>育種</u>	四国におけるマツ精英樹集団の遺伝的多様性評価: 抵抗性マツ・野外集団との比較 岩泉正和・今野敏彦・河合貴之・平尾知士
A17	<u>育種</u>	スギカミキリ抵抗性交配家系を植栽した次代検定林における抵抗性検定に向けた事前検討 宮下久哉・三浦真弘・山田浩雄
A18	<u>育種</u>	関西育種基本区のヒノキ採種園の現状について－アンケート調査の結果－ 三浦真弘・宮下久哉・大城浩司・坂本庄生・山田浩雄
A19	<u>生態</u>	カナダの北方林に生育するポプラの幹に凍害年輪が発生する気温条件 高橋さやか・倉地奈保子・高橋絵里奈
A20	<u>生態</u>	マツ枯れ低質林におけるソヨゴの伐採によるコバノミツバツツジの開花量と下層植生の変化 柴田健士・長島啓子
A21	<u>生態</u>	京都市近郊のヒノキが優占する二次林の19年間の変化 中西麻美・柴田昌三・大澤直哉
A22	<u>保護</u>	兵庫県香美町・養父市のヒノキ人工林におけるニホンジカによる樹皮剥皮害の時空間変化 とその要因分析 三谷光市・藤木大介
A23	<u>利用</u>	スギにおける直径階別での見た目と強度特性の関係 植田小晴・長島啓子
A24	<u>緑化</u>	ニホンジカの採食圧を受けてきたヒノキ人工林の表土移動に及ぼす下層植生の回復の影響 (III)－食害以前の植生の回復とそれに要する期間－ 小島永裕・三井香代子
A25	<u>その他</u>	”持続可能性”について大学生が抱く意識の可視化 井上悟・Andrea Flores Urushima・法理樹里・徳地直子

## Zoom

時刻	番号	部門	演題と発表者氏名
13:00～13:15	Z01	林政	「経験の消失」時代における森林テーマパークの意義 田畑舞織
13:15～13:30	Z02	造林	原発事故8年後における福島県南相馬市の山林の放射線量の現状と3段階の間伐の実施 上原巖